

研究課題名	乳癌内分泌療法に起因する毛髪トラブルに対するヘアケアの重要性を検証する多機関前向き研究
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学大学院医学研究科 乳腺外科学が中心となって行う研究です。乳ガンの手術後に、再発を抑える目的でホルモン剤を内服することがありますが、ホルモン剤を内服し始めて、頭の髪の毛の変化が気になり、ストレスに感じる方もいらっしゃいます。この研究では、ホルモン剤の内服を始めてからの髪の毛の変化を確認し、またヘアケアの方法を指導することで、どのくらい髪の毛の状態がよくなるのかを調べていきます。
研究を行う期間	研究機関の長の実施許可日から、2025年3月31日まで
研究協力をお願いしたい方(対象者)	乳ガンと診断されて、完全に治すために手術を受けられた後に、再発予防のためにホルモン剤の内服を行う方(ただし、手術前後で抗ガン剤の治療を行っていない方)
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	下記項目を本研究に使用させてください。 通常診療の過程で得られるもの：年齢、内服しているホルモン剤の種類 通常診療以外で得られるもの：適宜に行うアンケート結果、髪の毛の状態の写真 染髪の有無
試料・情報の他機関への提供	この研究で得られた情報は、大阪公立大学大学院医学研究科(大阪公立大学医学部附属病院) 乳腺外科学へ、特定の個人を識別できない形で集められ、保管します。
この研究を行っている共同研究機関	大阪公立大学大学院医学研究科(大阪公立大学医学部附属病院) 乳腺外科 柏木 伸一郎 さくら乳腺クリニック 院長 浅野有香
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科(大阪公立大学医学部附属病院) 乳腺外科学 柏木 伸一郎
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	担当者：高田 晃次 所属：大阪公立大学大学院医学研究科 乳腺外科学 住所：大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話番号：06-6645-3838